**チビリン大会競技、審判員の注意事項**

　2013/8/27

大会の基本線はトレセン大会のNHカップに準ずるものと考えています。

基本的な競技規則は通常の8人制大会と同様です。

よって1人審判（予備審判あり）、全くの自由な交替、交替ゾーンからの交替(インプレー、アウトオブプレー関係なし)、コーチングは監督１名のみとなります。

但し、試合形式は3ピリオド（以下P）制で、第１P；10分－インターバル1分－第２P；10分－インターバル5分－第３P；10分となります。

第3Pは第1Pキックオフのチームによるキックオフにて開始します。

5分経過(選手の怪我等でアディショナルタイムが生じた場合は追加時間を終了)した時点で笛を吹き、速やかに攻めるエンドの交替をします。

次の再開は第2Pキックオフのチームによるキックオフにより試合を再開します。

選手登録は16名以上20名以内で10歳以下の4年生以下の選手が対象となります。

もちろん決勝トーナメントでは選手証の確認を行います。

その際は登録中でまだ選手証が届いていないと言うことは認められません。

尚、第１Pに1秒でも出場した選手は第2Pに出場することができません。

つまり第1Pと、第2Pの選手は基本的に

全選手の交代となります。

ゴールキーパーも同様です。

第３Pはメンバー表にある選手全員から自由に出場交替可能です。

尚、試合開始前に所定のメンバー表を提出して頂きます。

そこには選手の背番号、氏名、選手登録番号、第１P、第2Pの先発のシルシがあるものを、予選リーグでは試合開始前に審判員に、決勝トーナメントでは試合開始20分前に本部に提出して頂きます。

審判員は試合開始直前にメンバー表と全ての選手(第１P先発以外も)の背番号と名前、全ての用具の確認を行います。

その上で第1P先発の確認を行います。

予備審判は第1P終了２分前には、両チームの第2Ｐの出場選手を集め、第2Ｐへの出場確認をメンバー表で確認します。

第1Ｐ終了後は速やかに選手の交代を完了させて第2Ｐに備えます。(休憩の時間では無い)。

また、予備審判は試合中の出場退場の確認を厳密に行って下さい。

くれぐれも第1Ｐに出場した選手が第2Ｐに出場(途中からでも)することが無いようにしっかり監視をしていて下さい。

また、警告、退場の懲戒処分については、大会期間中持ち越しとなります。

各会場主管チームは試合結果と共に、懲戒処分についても競技部に報告して下さい。

Ｑ＆Ａ

いくつかの質問にお答えします。

（１）第１ＰでＡに替えてＢを入れた場合、ＡもＢも第２Ｐには出場できない→その通り

（２）第１ＰでＡに替えてＢを入れた場合、第１ＰのうちでＡを再出場させてもよい→その通り

（３）ベンチ全て出場の中濃ルールは適用されない→その通り

（４）１６人しかいない場合、第１Ｐもしくは第２Ｐでレッドカード退場者が出た場合ゲームが続けられない→その通り（その際は途中棄権負けとなりますが、得点等については今後役員会にて検討します。）

（５）（４）の場合で怪我による場合は、ピッチ外で治療中ということでフィールドは７人で続けても問題ない→その通り

（６）給水タイムは設けない→その通り

　　　かなり涼しくなりましたし、10分間と言う短い試合形式ですので基本的に不要かと思います。

　　しかし、選手も審判もアウト･オブ･プレー中にタッチライン上での飲水は競技規則上認められています。チームの裁量で適宜選手の飲水を心掛けてがけて下さい。

１次リーグで同点の場合はそのまま引き分けとします。

勝ち点制で勝利3点、　引き分け　1点　　負け　0点を

各チームの勝ち点数に加えます。

決勝ト－ナメントでは3人でのＰＫ合戦(それ以降はサドンデス)となります。

選手がユニフォームを着る事と同様に、審判員も審判服で身を包み、ワッペンもしっかり着けて、見た目も審判らしく整えて下さい。

また、主審は広い視野と豊富な運動量でキッチリと試合をコントロールして頂きたいと思います。

尚、質問等は以下のメルアドにお問い合わせ下さい。

よろしくお願いします。

2013年8月28日

中濃少年委員会　審判部長

　大谷　卓也

E-mail　；　takuyaoh1308＠athena.ocn.ne.jp